

経済倶楽部便り

◆東京◆ 新年度入りの4月も多彩な講師をお呼びしました。なかでも篠田英朗・東京外国語大学大学院教授は印象深いものであります。

篠田氏は学生時代から海外の難民救援活動をされてきましたが、その経験から日本の現状について以下のような話をされました。戦後日本は長い間、憲法9条の解釈に膨大な時間をかけ続けており、その結果、実際的にはPKO活動が出来ない状態にある。憲法解釈は大西洋憲章や国連憲章など国際的な共通解釈に沿うようにすれば、日本は企業活動以外の分野で国際的認知度が上ると。詳細は6月号に掲載します。

4月新入会員は原田穰氏、入江俊介氏、木村道男氏、高橋靖明氏、桜井不二雄氏、あやめ税理士法人役員の牛草利興氏の方々です。

6月の講師は小島眞・拓殖大学大学院客員教授、石川一洋・NHK解説委員、吉崎達彦・双日総研チーフエコノミスト、ノンフィクション作家の塩田潮氏、加藤出・東短リサーチ社長を予定しています。

◆中部◆ 中部経済倶楽部の入居する栄町ビルは開業が1964年と半世紀以上前です。ビルの老朽化もあり、所有者の興和は2020年を目途に建て替えを検討。倶楽部としても、講演会場の見直しなどが課題になってきそうです。

6月の講師は富坂聰・拓殖大学教授並びに、田中秀征・福山大学客員教授です。(日暮良一)